



家庭数配布

富士見台

令和6年度 学校評価号
学校だより 567号
練馬区立富士見台小学校
校長 関口 一也

<http://www.fujimidai-e.nerima-tyo.ed.jp/>

令和6年度学校評価の結果について

校長 関口 一也

学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。結果をまとめましたので、お知らせいたします。

調査の概要

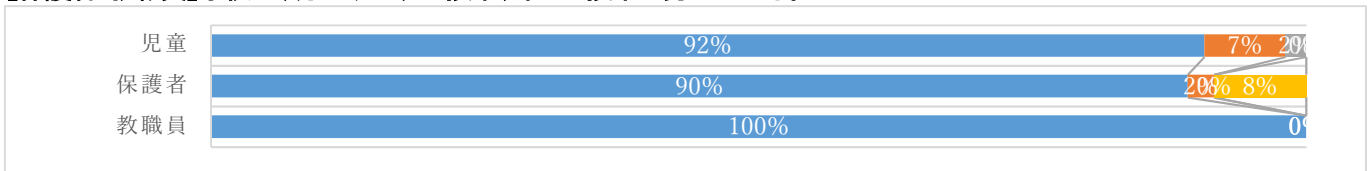
- | | |
|----------|--|
| 1 調査実施期間 | 令和6年11月20日～26日 |
| 2 対象・回収数 | ○児童 575名 ○保護者 188名 回収率 41.2% ○教職員 22名 |
| 3 回答方法 | 保護者・教職員
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】【0分からない】の5段階評定
児童
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】の4段階評定法 |
| 4 処理方法 | ○設問9項目についての回答を集計し、全体における割合をグラフに表した。
○自由記述について集約した結果を表した。 |

1 質問についての結果

- (1) 結果 グラフの内訳は左から【4】【3】【2】【1】【0】割合を示しています。
※【4】【3】の肯定的評価は合算した数値を指します。青色の帯グラフ（）で示しています。

①【児童】授業の学習内容が分かる。

【保護者・教職員】学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。



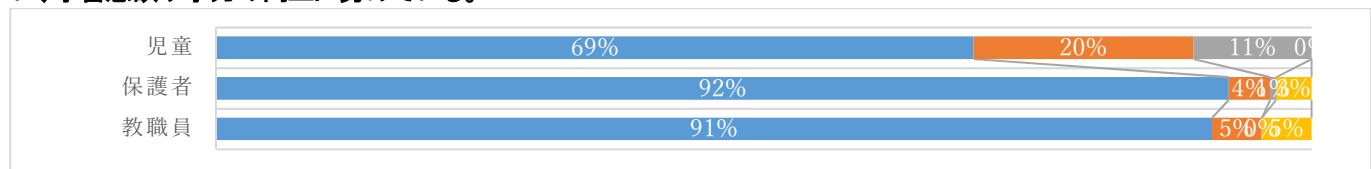
※肯定的評価：児童92%、保護者90%、教職員100%

主なご意見

- 勉強が楽しい様子です。
- 子供の成果を見る機会をつくっているところが良いです。

②【児2②】すすんで学びのステーション(算数、漢字)や学習アプリ(タイピング練習、百人一首、九九、プログラミング、ドリルパークなど)に取り組んでいる。

【保・教】学校は、学力定着を図るための取組(算数少数指導、読書活動、家庭学習週間、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。



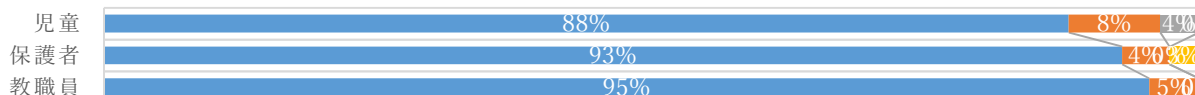
※肯定的評価：児童69%、保護者92%、教職員91%

主なご意見

- 読書や創作に力を入れている（と感じる。）
- 学力だけでなく、心の成長を大事にしていると感じる。

③【児】1学期に比べて、あいさつができるようになった。

【保・教】学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上で、基本的生活習慣が身に付くよう指導している。



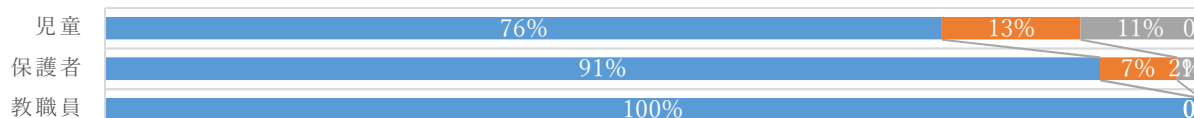
※肯定的評価：児童88%、保護者93%、教職員95%

主なご意見

- 挨拶がしっかりできる。
- 校外学習での交通ルールを守ることができていた。お店の人への態度が良かったです。
- 登校の朝当番の際、挨拶をしない子が多いように感じます。
- 子供自身から活発に挨拶ができるようになるための指導をしてもらいたいです。

④【児】学校で困ったことがあったとき、相談できる先生たちがいることをしている。(スクールカウンセラー、心の相談員さんなど)

【保・教】学校は、児童についての連絡、相談に適切に対応している。(年2回の個人面談や電話連絡等)



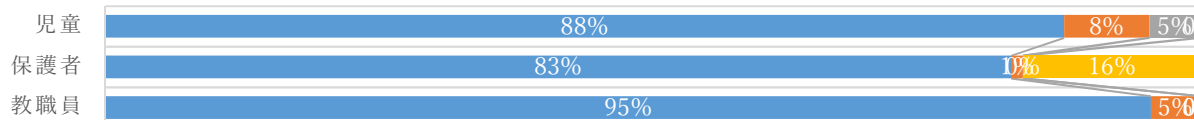
※肯定的評価：児童76%、保護者91%、教職員100%

主なご意見

- 子供一人ひとりをよく見てくれていて、何かあるとすぐに連絡があり、助かる。
- 学校全体で子供たちを見守っていると感じます。
- 教員が子供と向き合い話をする時間をつくっていただきたいです。
- (児童の発達特性に応じた指導の必要性から) 研修やインクルーシブ教育などに力を入れてほしい。

⑤【児】にこにこペアタイムで、ほかの学年の友達となかよくなった。

【保・教】学校は、きょうだい学年交流の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。



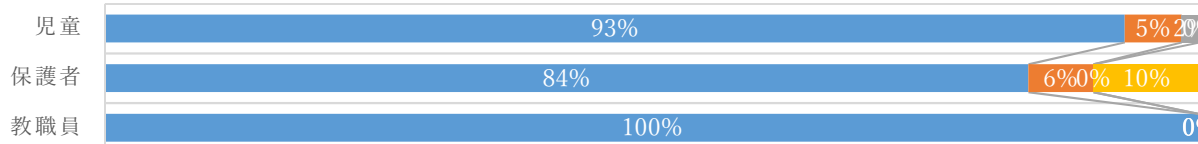
※肯定的評価：児童88%、保護者83%、教職員95%

主なご意見

- きょうだい学年等異学年のコミュニケーションがあり、家庭での兄弟の有無に関わらず体験できる場所が良いです。
- きょうだい交流のように、学年を越えて交流があるのは良いと思います。
- 縦割り班で上の学年、下の学年でいろいろな知り合いができて、すごく良いと思う。

⑥【児】そうじの時間は、まかされた仕事をさいごまでおこなっている。

【保・教】学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。

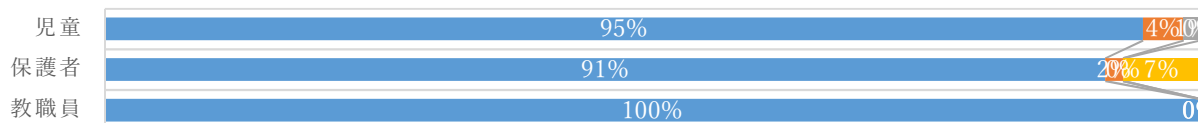


※肯定的評価：児童 93%、保護者 84%、教職員 100%

主なご意見 特になし

⑦【児】避難訓練に真剣に参加している。

【保・教】学校は、緊急時に備えて安全指導(避難訓練、毎月の安全指導)、校舎内外の安全管理に努めている。

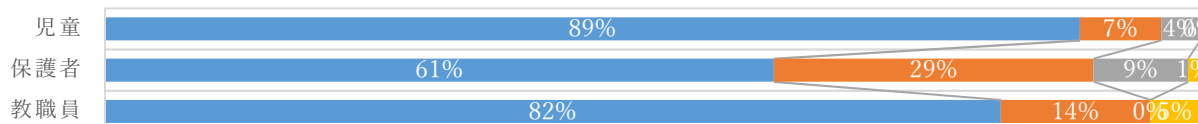


※肯定的評価：児童 95%、保護者 91%、教職員 100%

主なご意見 特になし

⑧【児】すすんでタブレットをつかっている。(タブレットタイム、学習、係活動、委員会など)

【保・教】学校で学習したことを使って、家庭でもタブレットを活用するように促している。

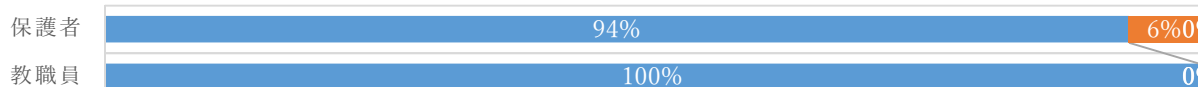


※肯定的評価：児童 89%、保護者 61%、教職員 82%

主なご意見

- タブレットをもっと活用して、教科書等の荷物を減らしてほしいです。
- タブレット教育は時代の流れの中で必要なかもしれませんが、人と人との交流や、手書きの文字や会話で意思を伝えることなど、現代社会で忘れがちになっているアナログ的なことを重視して教えて頂きたい。

⑨【保・教】学校は、ペーパーレス化(Sigfy の活用)を図りながら、学校便り、学年便り、保健便り、給食便り、ホームページ、学校参観などで学校の活動や取組を伝えている。



主なご意見

- Sigfy で資料が届くのでとても便利になりました。
- お便りのさらなるペーパーレス化を希望します。
- 献立表も sigfy で共有できると助かります。

2 今回の学校評価について

○数字は問題番号を、(%)は、肯定的回答の割合を示します。

(1) 肯定的評価が高い項目

位	児童	保護者
1	⑦ 避難訓練に真剣に参加している。(95%)	⑨ 学校は、ペーパーレス化(sigfy の活用)を図りながら、学校便り、学年便り、保健便り、給食便り、ホームページ、学校参観などで 学校の活動や取組を伝えている。(94%)
2	⑥ そうじの時間は、まかされた仕事を最後までしている。(93%)	③ 学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上で、基本的生活習慣が身に付くよう指導している。(93%)
3	② 授業の学習内容が分かる。(92%)	② 学校は、学力定着を図るための取組(算数少人数指導、読書活動、家庭学習週間、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。(92%)

- 児童の肯定的評価が高い項目では、避難訓練、掃除など、日々の自身の役割を果たそうとしたり、自分の命を守るための訓練を真剣に取り組んだりしているという意識が高いことが伺えます。
- 保護者の方からは、学校の sigfy での連絡について、大変高い評価をいただきました。また、基本的生活習慣を身に付けることや学力向上の取組についても高い評価をいただきました。お子さんの成長のために更に努力してまいります。

(2) 肯定的評価が低い項目

位	児童	保護者
1	② すすんで学びのステーション(算数、漢字)や学習アプリ(タイピング練習、百人一首、九九、プログラミング、ドリルパークなど)に取り組んでいる。(69%)	⑧ 学校で学習したことを使って、家庭でもタブレットを活用するように促している。(61%)
2	④ 学校で困ったことがあったとき、相談できる先生たちがいることを知っている。(スクールカウンセラー、心の相談員さんなど) (76%)	⑤ 学校は、きょうだい学年交流の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。(83%) 【分からない17%】
3	③ 生活習慣について ⑤ きょうだい学年の交流について (ともに88%)	⑥ 学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。(84%) 【分からない10%】

- ②の項目について、学びのステーションや学習アプリの活用を促し、児童がすすんで学習に取り組めるようにしてまいります。今年度は週に1度、朝の時間に『タブレットタイム』を設け、児童の発達段階に応じて、操作技能や情報活用能力を高めてまいりました。来年度も継続し、タブレット端末を活用した学習が更に身に付くようにしてまいります。
- ④の項目では、心のふれあい相談員やスクールカウンセラーの面談のねらいや面談日等、児童に分かりやすく伝わるように周知を図ってまいります。心のふれあい相談員の利用ガイダンスで相談しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。
- 保護者の方の肯定的評価が一番低い項目は、⑧の家庭でのタブレット活用でした。家庭学習でタブレット端末を活用した課題や classroom での情報共有等、家庭でタブレットを活用する時間が増えるようにしていきます。
- ⑤のきょうだい交流での交流については、肯定的評価は83%でしたが、「分からない」と回答の方が17%となりました。兄弟あそびの様子や行事の後のメッセージの交換をしている様子を保護者の方にお伝えしてまいります。

(3) ご質問、ご意見に対するお答え

Q1 : 子供から挨拶が返ってこないのが気になります。

A : 大人から挨拶をしても、挨拶が返ってこないお子さんが少なからずいるのが現状です。学校では、4、5、6年生の児童が中心となって、年間4回、朝の登校時に1週間ずつ挨拶週間を設定しています。挨拶運動の取組を通し、児童がすすんで挨拶をする意識を高めています。ぜひとも、ご家庭でも「おはよう」「おやすみなさい」「ありがとう」「ごめんなさい」などを言えるように習慣付けていただきたいと思います。学校、家庭、地域でも、気持ちのよい挨拶を自分からできる子に育てていきたいと思っています。

Q2 : sigfy でのお知らせと文書でのお知らせの仕方の統一をしてもらいたいです。

A : sigfy が本格導入されたことにより、紙媒体の文書、sigfy の送信する文書の精査をし、保護者の方が更に便利に活用できるようにしてまいります。